



19941110
[9407]
総16号
発行 桂坂
自治連合会
広報編集部

地震発生を想定して

総合防災訓練

於 桂坂小学校グラウンド

十一月十三日(日) 午前九時 「避難誘導」開始
午前十時 「模擬訓練」開始

来る十三日、桂坂学区の「総合防災訓練」が実施されます。

当日の訓練は、「地域防災体制の確立を図る」ことを目的とし、「京都南部を震源とする大規模な地震が発生、各地で火災等の災害が多発して地域住民の避難・救出・救護、初期消火および給食活動等の必要がある」ことを想定した、初の「総合防災訓練」が実施されます。

まず各自治会から自主防災部の標旗を先頭にして小学校に避難し、緊急時に必要な、避難してきた人員の確認を行います。そのあと西京消防署の指導のもとに、次のような幾つかの訓練が行われます。具体的には、「一一九番



朝9時 「模擬」放送
朝九時 「地震の発生」を告げ「火の始末をして避難してほしい」旨の「放送」をセキュリティを通して流します。

これは、模擬訓練開始の放送です。最初に「訓練です」とことわって始めますが、くれぐれもお間違いのないようお願いいたします。

前日には翌日の訓練について、また、当日も本番の放送少し前に「総合防災訓練」の一環である旨、お伝えします。

ふれあい
クリーンデー
11/20

「統一ふれあいクリーンデー」は八回目を迎えます。

第二・土曜日が学校休日となったために、今回より第三・日曜日の実施となりました。

近隣の方とのふれあいを深めるとともに桂坂の街を美しく保つていこうというのがその趣旨です。皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

行政懇談会

去る十月十五日、ふれあい会館において行政懇談会が開かれました。行政側の出席は、要望事項にともない、洛西支所、桂警察、交通局、清掃局、消防署。

■ 交番所の早期新設
築後二十六年目の大枝の交番所は改築の時期に来ており、桂坂・大枝両地区の実状(人口の増加や犯罪発生件数等)を見ながら検討を進めている。

交通規制について

桂坂の幹線道路に速度制限、駐車違反等の標識を設置し、また、ロータリーから御陵坂を抜ける道路の開通にもなつて増加すると思われる亀岡方面からの通過車両も規制できないかとの要望には、全面的に規制することは現状では無理だが、通過車両の分離が可能かどうかは今後検討してみたい。

■ バスの増便など
今はオンラインによって全系統の乗降客の動向を集約し「お客様の利用状況を的確に把握し、旅客需要に

自治記念日の功労者表彰
田畑昭三氏
酒井 厚氏

十月十五日の自治記念日に、田畑昭三氏、酒井厚氏の地域への貢献に対して京都市より感謝状が贈られました。

田畑氏(現桂坂学区自治連合会副会長)は、自治連合会の発足以来、クリーンデーの定着化、自主防災会の設立等に奔走、自治連合会の基盤造りに貢献されました。

酒井氏(現桂坂学区民生児童委員)は、桂坂学区児童民生委員総務、山の手俱樂部副会長として、地域住民の福祉や地域の発展のために活躍されています。

御礼

平成六年度「赤い羽根」共同募金
募金運動には、皆様よりのお力添えに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

また、募金運動にご奉仕

頂きました方々のご配慮とご尽力に併せて厚く御礼申し上げます。

皆様方より頂きました募金は、地域の社会福祉事業の推進や民間の社会福

平成六年度目標額
四二二、二〇〇円
募集実績額
七五六、四二六円

共同募金西京地区支会
桂坂分会長
田畑 昭三

京都中央信用金庫桂坂支店	五,〇〇〇円
交文自治会	一三〇,〇〇〇円
三好自治会	一〇八,〇〇〇円
しんが自治会	七〇,〇〇〇円
はなすき自治会	六六,六五〇円
ほろ自治会	六三,三〇〇円
ひら自治会	六〇,〇〇〇円
ひら自治会	六〇,〇〇〇円
共済自治会	六〇,〇〇〇円
森崎自治会	八,〇〇〇円
峰幸自治会	二,五〇〇円
以上	以上

「日文研」の一般公開

「遊び」の空間

去る十一月一日、国際日本文化研究センターが私達一般人に公開されました。

「世界の日本研究者に対する研究協力」をおこなうことを目的として設立されたため、その利用も関係分野の研究者に限られ、普段は一般に公開されません。

しかし、今回のように年に一回にしろ、「一般市民への普及」活動の一環として施設の一部、所蔵の文献、

これまでに蓄積されているデータなどが、見たり触れたりできる形で公開されるのは、地域に住む私たちに

とっては、文化の芳香を聞きうる恰好の機会にもなり有難いことだと思います。

内訳
西澤環境開発 二、三六八円
日本国際文化センター 二、五〇〇円
沿河あいの里環境センター 二、三六八円
京都中央信用金庫桂坂支店 五、〇〇〇円

当日は、セミナー室では「日文研紹介ビデオ」の放映と写真「秋の大原野」の展示、図書室では外国語で書かれた日本研究書の陳列とコーナーページの公開などが行われました。

「桂坂、いいところにお住いですね」と羨望されるこの地の、しかも眺望の利く一等地に位置するセンターは、この環境が設計に巧みに活かされています。

円筒型の図書室や講堂もさることながら、回廊に囲まれた中庭を含む建物全体の佇まい、これには魂消ました。あの和洋を折衷した

「遊び」の空間では、自在に心を遊ばせることもできそうです。また、国際的かつ日本的の相互交流に雄々しく想い遣ることもできるでしょうから、研究者冥利に尽きるのではないかと傍目には感じました。

訂正とお詫び

広報「桂坂」第十五号の中で、桂坂学区・防犯推進委員協議会理事の鹿野準一さんの寄せられた文章のうち、「八月八日(土)夕刻から合同会議の形式で熱心な討議が行われました」とあるところは「九月十七日(土)」の誤植でした。訂正してお詫びいたします。

11月17日(木)

西京区老人クラブ 第4回 文化芸能祭

西文化会館 ウエステイ

「文化芸能祭」に山の手クラブのコース部の方々が出演されます。時間は二部の、終わりがら二番目で、三時過ぎになります。

現在は中・桂坂支店の二階ホールで月二回(第二・第四木曜日)練習を重ね、この度は、昨年に続いて二度目の成果の発表ということとなります。

総勢二十四人がステージドレスを新調し、晴れの舞台。曲目は次の四曲です。

- 「小さい秋見つけた」(佐藤八子ロー作詞・中田喜直作曲)
- アメリカ民謡「朗らか村長さん」
- 「忘れな草をあなたに」(木下龍太郎作詞・江口浩司作曲)
- 「荒城の月」(土井晩翠作詞・瀧廉太郎作曲)

自転車教室

交通安全推進会・婦人部

桂坂は坂道が多く、また最近車も増えてきたために、子供たちの事故に遭う危険が一杯あります。特に親の手を離れて行動範囲の広がる自転車は、子供たちにとって便利で楽しい乗物である反面、事故に遭う危険性も高くなっています。

そこで、去る十月二十二日(土)の午後、桂警察署から二人の婦人交通指導員さんに来てもらい、PTAとの共催で、桂坂小学校のグラウンドにおいて「自転車教室」を開催しました。いつもは学校に自転車に乗ってきかずにいけませんが、その日は特別ということで、八十五台の自転車(約百名の児童)が参加しました。

洛西ふれあいの里 第10回 生産展 投産園 11/10~13 ところ ラッセセンターコート

の挨拶の後、婦交さんのお話があり、その次はよいよ実技です。グラウンド上の模擬コースを走って交通ルールを学んだり、スラロームや急制動、遅乗りといったコースを走り、自分の運転技術を試したりしました。そのほかにもクイズコーナーや自分で自転車を点検するコーナーもあり、あつという間に予定の時間が過ぎてしまいました。自転車に乗って来た子も乗って来なかった子もみんな最後におみやげをもらって家路につきました。

スポーツ大会を終えて

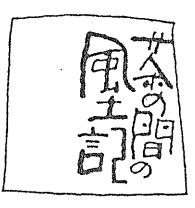
少年補導委員会主催

十月三十日、桂坂小学校において少年補導委員会主催のスポーツ大会が開催されました。各自治会から選ばれた小学一年から六年生までの十二チーム、百四十人余りの子どもたちが秋晴れのなか元気にプレイしました。

競技はビートボール。内容は、キックベースと野球を併せたようなルールで、できるだけ走者と守る側が交錯しないよう考案して作られており、初めてプレイする人も多く、最初はまごつく場面もありました。が、審判団も監督も徐々に慣れてくると、全く違和感なくゲームに没頭してしまいい、攻守交替や代打の夕イミングなど、勝手知ったるゲームのごとく秋空のなかで、元気にプレイしました。

た様子一つ見せず、元気に解散となりました。最後に開催にあたっては校長先生はじめPTAの皆さんに朝早くからご協力いただき、誠にありがとうございました。紙面を借りてお礼申し上げますとともに、今後ともご協力のほどよろしく願います。

少年補導委員会 桂坂支部 馬江 芳雄



旧山陰街道 II

の開基と伝えられ、本尊は清戦以来の戦没者六十五松尾の最福寺という寺の安置仏であったといわれる鎌倉時代作の一木丸彫の阿弥陀如来です。寺の名は開基の称念上人にあやかったもの。もとは知恩院に属した

の顔ともいふべき有名な広場がある。かのフランスの作家ヴィクトル・ユーゴーが「世界で一番美しい広場」と称え、愛したとされるこのグラン・プラスは、四方に十六世紀十七世紀のイタリヤ風バロック建築の市庁舎やギルドハウスを携えた実に華麗な広場である。

花の絨毯 ヨーロッパの花文化 坂本 淳子

あでやかなものだった。今回、この花祭りを目的のあたりにして私が感じたのは、ヨーロッパと日本の花の気候や文化、感性に合った花の楽しみ方を育んできた。そして方法にこそ違いはあるものの、花を愛する心はどこも同じなのだ。わが日本では、このような花を主役にした大がかりな祭りというのはいまありません。

「日文化研」講堂 両日とも二時〜四時

字波多陵から街道に戻り西へ進むと大枝小学校です。この小学校は、明治六年九月の学制の発令とともに大枝中山に塚原校として発足した、百年以上もの古い歴史をもつ学校です。その小学校の西を右手に折れて少し行くと称念寺です。民家に囲まれ、見過して終いそな寺ですが、天文年間(十六世紀中頃)寄贈された忠魂碑です。日社と京都労働者住宅生活協

この八月の初め、私は両親と三人でベルギー、オランダを旅した。私たちが訪れたこの時期は、一年を通じて曇りがちなヨーロッパでは、最も光に満ちあふれた美しい季節で、特に花の国として知られるこの二ヶ国だけあって、私たちは行く先々で、色とりどりの花々に囲まれて過ごした。

てるのではなく、自然の中のあるがままの姿を愛することに思える。古来日本では、いわゆる花の季節である春や夏のみならず、秋は萩、冬は椿という風に、一年を通じて四季折々の花々を愛でる術を知り、伝えてきた。一方、ヨーロッパは、特にフランス北部やドイツ以北の地域では、夏は短く、冬は長く厳しい。このような気候の中で人々は閉ざされた長い冬の終わりを咲き始めた花とともに喜び、家々の窓に愛情を込めて育てた花々を飾り、その短い夏を思いきり華やかに演出し楽しんでいくのだと思う。

日本文化研究センター 都市と建築 西洋と日本を 見くらべて 「日文化研」講堂 両日とも二時〜四時